

備前市施策評価シート

【令和2年度作成】

施策名 (小項目)	公民館・図書館機能の充実	決算書 P186-191	(款)10 教育費 (項)6 社会教育費 (目)2 公民館費,3 図書館費
コード	02-02-07	作成者	社会教育課長 竹林 幸作 (tel 64-1134)

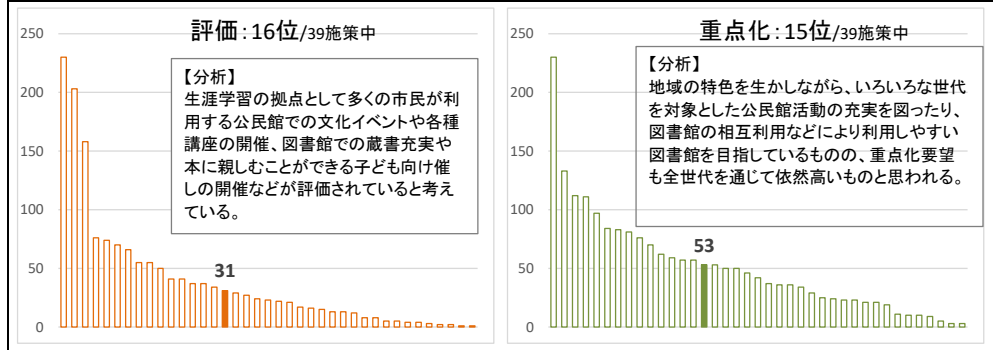
この施策の アピール ポイント	公民館、図書館では、生涯学習の拠点として、気軽に来館いただける環境づくりを行っていきます。公民館では、市民の生きがいや自己実現を促進するための事業を展開するとともに、図書館では生涯を通じて読書に親しむことのできる環境の整備を行っていきます。
-----------------------	--

この施策の 平成31年度の 施政方針	公民館・図書館機能の充実につきましては、図書館資料の収集・整備に努めるとともに、新図書館整備基本構想策定に取り組んでまいります。また、老朽化した地区公民館の整備に順次取り組んでまいります。
--------------------------	--

<備前市総合計画の内容から記載する>

① 政策の体系	基本構想(大項目)	自己実現政策「生涯学習、歴史、文化」
	基本計画(中項目)	自分を磨ける・自分を変えられるまち
② 対象と目的 (誰のために、何のために)	公民館、図書館は、市民にとって最も身近な生涯学習の拠点です。公民館では市民に情報交換の場として気軽に利用していただき、図書館では豊富な知識や多様な情報を市民に提供する社会教育施設として、利用の場を提供します。	
③ 現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	公民館・図書館は、地域活動・生涯学習の拠点です。最も身近な生涯学習施設である公民館では、文化イベントや各種講座の開催等さまざまな事業を行っていますが、趣味趣向の多様化による参加者の減少や固定化、事業のマンネリ化などの課題があります。地域の学習拠点として、すべての市民の生きがいや自己実現を促進する公民館事業を展開していくことが必要です。図書館は、知識の拠点施設として生涯を通じて読書に親しむことのできる環境の整備が必要です。また、多様化する市民のニーズに対応していけるよう、幅広い資料の収集とともに、施設・設備の充実が求められています。	
④ 施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> <li>公民館における学習機会の拡大・充実</li> <li>公民館事業における若年層との交流促進</li> <li>地区公民館への支援</li> <li>図書館書籍の充実</li> <li>本に親しむ活動の推進</li> <li>図書館機能の整備・充実</li> </ul>	

⑤ 市民意識調査による施策の評価・重点化



⑥ 施策成果指標(基本目標・基本施策・施策意図から設定)

施策に対する成果指標名	単位	過年度実績			評価年度	成果指標の計算式の説明 ベンチマークの説明	目標値	
		H29	H30	R1			R2	R4
公民館の利用者数	目標	人	77,500	80,000	82,500	3館の利用者数の合計。備前市民センター、日生市民会館、吉永地域公民館の利用者を含む。	R2	85,000
	実績	人	80,651	79,611	76,314		R4	90,000
	達成率	%	104.1	99.5	92.5			
	ベンチマーク							
図書館の利用者数	目標	人	23,000	24,000	25,000	3館(本館・分館)の利用者数の合計	R2	26,000
	実績	人	20,163	21,430	21,282		R4	28,000
	達成率	%	87.7	89.3	85.1			
	ベンチマーク							
1人当たりの貸出数	目標	冊	2.7	2.8	2.9	市民1人当たりの図書貸出冊数(貸出冊数/人口)	R2	3.0
	実績	冊	2.3	2.8	2.7		R4	3.2
	達成率	%	85.2	100.0	93.1			
	ベンチマーク							
公民館講座募集定員の充足率	目標	%	80.0	80.0	80.0	(応募者数/定員)	R2	80.0
	実績	%	68.5	74.9	46.4		R4	90.0
	達成率	%	85.6	93.6	58.0			
	ベンチマーク							

⑦ 目標達成に必要な新規事業(施策構成事務事業以外の事業)及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	説明・期待される効果
学校教育課	学校図書館運営事業	児童期から本を選ぶ機会を設け、読書習慣を身に付けさせることができる。
子育て支援課	次世代育成支援対策事業	幼少期から本を選ぶ機会を設け、読書習慣を身に付けさせることができる。

⑧ 施策の評価

項目	評価	5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い	
		判断	理由(なぜ、そのランクと評価したのか)
1 <成果指標の妥当性> 施策の目的・成果を表現しているか?	4		公民館や図書館にご来館いただき、各々の課題解決や情報提供に役立てていただくお手伝いをするためには、たくさんの方にご利用いただくという指標が、今の段階では妥当だと考えています。
2 <事業構成の適当性> 手段は最適か?	3		貸館業務だけに対応している傾向が強くなっている公民館の現場を、社会教育の推進を念頭にした多様な講座を企画したり、市の各施策と連携した取組みを進めているが、引き続き工夫していく必要があります。
3 <施策の有効性> 指標分析、評価年度・中長期の達成見込みは?	3		生涯学習社会の理念を社会教育によっていかに実現するかという根本に立ち返って、地域の特性を生かしたり、時世を反映した事業や講座等を企画できるか重要となっています。今後も利用率の向上に向けて施設の魅力アップが必要となります。
進行年度(R2年度)の取組内容 (課題解決状況)		新型コロナウイルスの影響もありますが、各公民館が中心となって、さまざまな世代の方が参加できる各種講座(地域学、宇宙学など)の実施に取組みます。図書館の整備については、昨年度策定した図書館整備基本構想により、図書館の現状や課題、基本的な考えなどが示されており、 <b>タウンミーティングも活用しながら</b> 施設整備の具体的な比較検討を行うこととしています。	
翌年度(R3年度)の取組目標		地域の学習拠点として市民の生きがいや自己実現を促進する公民館事業の展開を目指していきます。 <b>施設整備と併せて</b> 、子供から大人まで図書館を利用し、事業に参加できるよう <b>ソフト面でも</b> 魅力ある図書館づくりに取組んでまいります。また、 <b>相互返却を開始した</b> 圏域連携(東備西播、岡山連携中核都市)による図書館相互利用を推進していきます。	
二次評価者コメント		公民館事業については、市民の主体的学びを支えるとともに、学習ニーズを踏まえた公民館主催事業を展開していく。図書館の整備については図書館整備基本構想に基づき施設の充実のための方策を検討していく。	基本施策への 貢献度  <b>4 やや高い</b>
役職	教育部長		
氏名	田原 義大		